

# 総務教育常任委員会資料

(平成24年6月12日)

【 件 名 】

- 1 鳥取県文化財保護審議会への諮問について（文化財課）…………… 1
- 2 企画展「開館40周年 大きのこ展」の開催について（博物館）…………… 2

教 育 委 員 会

## 鳥取県文化財保護審議会への諮問について

平成24年6月12日  
文 化 財 課

平成24年3月9日(金)に三徳山<sup>しょうぜんいん</sup>正善院において発生した火災により毀損した県指定保護文化財「木造蔵王権現立像<sup>ごおうこんげんりゅうぞう</sup>」について、6月5日(火)に開催した定例教育委員会において審議し、県指定保護文化財の指定解除について鳥取県文化財保護審議会に諮問しました。

今後、8～9月に開催予定の鳥取県文化財保護審議会において審議され、その結果が教育委員会へ答申されます。

### 1 火災発生の状況

- (1) 日 時 平成24年3月9日(金) 12時25分頃出火、約2時間後鎮火
- (2) 被害状況 本堂(木造茅葺・江戸時代)及び庫裏を全焼、境内では山門・事務所・蔵・位牌堂・離れは延焼を免れた。

### 2 文化財の被害状況

- ・木造蔵王権現立像(H15年県保護文化財指定)
  - …火災により所在不明であったが、5月18日(金)に行った鳥取県文化財保護審議会美術工芸部会委員による現地調査及びその後の協議において、焼け跡から発見された焼損断片が蔵王権現立像であることが確認された。
- ・正善院庭園(H17年県名勝指定)
  - …池の水量が減少し、焼けた部材の崩落もあったが被害は軽微である。

### 3 指定解除について諮問した県指定保護文化財

#### 「木像蔵王権現立像」

三徳山正善院(三朝町)所蔵の蔵王権現立像。顔の部位の造形、丸みを帯びた体や衣のなだらかな肉取りの表現などから平安時代後期の作と推定され、平成15年9月5日に県指定保護文化財に指定された。



(総高90.6cm)

## 企画展「開館40周年 大きのこ展」の開催について

平成24年6月12日  
博 物 館

- |         |  |
|---------|--|
| 1 展覧会名  | 企画展「開館40周年 大きのこ展」  |
| 2 会 期   | 平成24年7月14日(土)～9月2日(日) 51日間(無休)<br>午前9時～午後5時(土、日、祝日は午後7時まで)   |
| 3 会 場   | 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室   |
| 4 主 催   | 鳥取県立博物館  |
| 5 特別協力  | 財団法人日本きのこセンター菌茸研究所、鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター  |
| 6 協 賛   | 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、三和商事株式会社、株式会社吉備総合電設、株式会社グラン・クリュ食工房  |
| 7 入 場 料 | 一般700円(団体・前売500円) / 小・中学生、高校生、学生は「無料」<br>入場料免除：学校教育活動での引率者、障がいのある方・要介護者等及びその介護者、70歳以上の方  |
| 8 概 要   | 鳥取県には、日本で唯一のきのこ専門研究機関「財団法人日本きのこセンター菌茸研究所」があり、鳥取大学もきのこの世界的な研究拠点をつくっている。また、自然に恵まれた鳥取県には、野生のきのこもたくさんあり、原木栽培等によるきのこ栽培も盛んに行われている。鳥取県は実は「きのこ王国」であるにもかかわらず、このことは県民にあまり知られていない。この企画展では、「きのこ」とはどんな生きものなのか、その多様性や生態系での働きを、全国から集めてくる貴重な資料でわかりやすく紹介する。 |

### 1 主な展示資料：

きのこ曼荼羅(伊沢正名氏撮影・制作)、あそべる拡大きのこの森(精密きのこスポンジ造形)、キノコアクリル封入標本(当館蔵)、キノコ精密複製模型(当館、国立科学博物館、茨城県自然博物館、千葉中央博物館蔵)、光るキノコ：ヤコウタケ培養品(菌茸研究所提供)、きのこに関する博物画・植物画(千葉県立中央博物館蔵)、南方熊楠菌類図譜(国立科学博物館蔵)、きのこ切手、きのこグッズなど

### 2 関連事業

- (1) ワークショップ「きのこアクセサリをつくろう！」(講師：カエル工房)  
7月21日(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00 ③16:00～18:00 会議室(材料代500円)、定員：各回20名(要申込)
- (2) 特別講演会「命を還すキノコのはたらき」講師：伊沢正名氏(元自然写真家)  
7月28日(土) 13:30～15:30 講堂(無料)、定員：250名(申込不要、先着順)
- (3) 鳥取大学グローバル COE プログラム「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」  
公開シンポジウム「きのこを知り、きのこを利用する」  
8月19日(日) 13:00～16:00 講堂(無料)、定員：250名(申込不要、先着順)
- (4) ワークショップ「音を出そう、ケージ体験」講師：藤島啓子氏・吹田哲二郎氏  
8月25日(土)14:00～16:00 講堂(無料)、対象：小学生～一般 定員：20名(要申込)
- (5) 記念コンサート「きのこを愛した20世紀の作曲家 ジョン・ケージコンサート」  
8月26日(日)14:00～16:00 講堂(無料)、定員：250名(申込不要、先着順)
- (6) 自然講座「鳥取大学菌類きのこ観察講座～野外観察と顕微鏡実習～」  
9月1日(土)10:00～16:00 博物館周辺(久松公園)・会議室(無料)、  
対象：小学生～一般、定員：顕微鏡実習込み20名/野外観察のみ30名(要申込)